

別 添

尾張北部医療圏保健医療計画(原案) 修正案

(修正箇所の下線あり)

平成 23 年 2 月 9 日

尾張北部圏域保健医療福祉推進会議資料

はじめに

尾張北部医療圏保健医療計画は、平成4年8月に策定、公示され、5年ごとに保健医療計画の見直しを行い、着実に計画の実現に努めているところです。

平成9年及び平成12年には医療法改正が、また平成12年4月からは介護保険法が施行され、介護保険制度の実施に対応しつつ、地域に必要な医療を確保し、良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制を確立することが必要とされております。

平成18年6月には「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律」の公布により医療法の一部が改正され、これに基づき当医療圏でも平成20年3月には「がん」を始めとする4疾病及び「救急医療」を始めとする4事業を中心とした内容の見直しを行いました。

今回のこの計画は、各医療圏の基準病床数を見直した愛知県の地域保健医療計画を基本に平成23年4月から平成28年3月までの5年間の保健医療計画を策定したものです。

具体的には、4疾病の急性期からリハビリテーションに至るまで機能の異なる医療機関が連携して適切に医療サービスを行うための医療提供体制の整備、救急医療・災害保健医療対策、在宅医療の提供体制整備の推進対策、医療機関相互の連携を密にした、それぞれの機能に応じた適切な医療を効果的に提供する病診連携等推進対策、高齢者保健医療福祉対策、歯科保健医療対策、医薬分業の推進等を主な内容としています。

この計画の着実な推進が、当医療圏域の保健・医療・福祉の向上に大きな役割を果たすことになると考えます。

第1章 地域の概況

第1節 地勢

当医療圏は、愛知県の北部に位置し5市2町からなり、南北約23.2km、東西約24.1km、圏域面積は295.92km²です。

東は、愛知高原国定公園、北は、飛騨木曾川国定公園といった自然景観に恵まれた尾張丘陵地帯で、木曾川を隔てて濃尾平野の北部に扇状に広がり、岐阜県に接しています。南は、名古屋市と隣接しており、企業立地条件に恵まれた先端技術産業、倉庫、運送業を始め各種にわたる内陸工業地帯として発展してきました。

気候は、総じて温暖ですが、夏季には高温多湿な日が続くことがあり、冬季には季節風による降雪が見られます。

第2節 交通

当医療圏の道路網は、日本の大動脈である東名・名神高速道路が東西に貫通し、中央自動車道は小牧JCTから北に延びています。

また、名古屋市内から名古屋高速道路が小牧ICまで北進してきており、東名阪自動車道が春日井市の南端部を横断しています。

諸主要道路のうち国道41号線が当医療圏西部を縦断し、また、国道19号線が南東部を、国道155号線が医療圏内を東西にそれぞれ横断しています。その他の主要地方道も比較的整備が進んでおり、大都市名古屋を中心に多くの路線が集中しています。

当医療圏内の主な鉄道は、名古屋を始点としたJR中央線が春日井市南部を走り、勝川駅で東海交通事業城北線と、高蔵寺駅では愛知環状鉄道と繋がっています。

また、医療圏の西部を名鉄犬山線が名古屋から犬山までを縦断し、犬山からは、医療圏の中央部を名鉄小牧線が縦断し上飯田で名古屋市営地下鉄と連絡しており、名古屋を中心とした公共交通機関の利便性は高いものとなっていますが、医療圏内を東西に結ぶ公共交通機関は、バス路線以外には整備されていません。

第3節 人口及び人口動態

1 総人口

当医療圏の人口は、平成22年10月1日現在732,228人(愛知県県民生活部調べ「あいちの人口」)で、男365,710人(構成比49.9%)、女366,518人(構成比50.1%)で、性差はほとんどありません。

昭和60年以降の当医療圏内人口の推移は、昭和60年を100とした指数で見ると、平成22年が118.4と県人口の115.9に比べて高い率を示していますが、これは高度経済成長時以降大都市周辺地として宅地造成、企業進出が活発に行われ急激に増加したことによります。

なお、人口の増加率において、小牧市及び大口町では、平成22年は昭和60年と比べ30%を超える増加を示しています。(表1-3-1)

表1-3-1 人口の推移

(各年10月1日現在)

年	春日井市	小牧市	犬山市	江南市	岩倉市	大口町	扶桑町	医療圏	愛知県
昭和60年	(人) 256,990	(人) 113,284	(人) 68,723	(人) 92,049	(人) 42,508	(人) 17,247	(人) 27,822	(人) 618,623	(人) 6,399,208
平成2年	266,599 (103.7)	124,441 (109.8)	69,801 (101.6)	93,837 (101.9)	43,807 (103.1)	17,464 (101.3)	29,210 (105.0)	645,169 (104.3)	6,625,160 (103.5)
平成7年	277,589 (108.0)	137,165 (121.1)	71,342 (103.8)	95,521 (103.8)	46,175 (108.6)	19,031 (110.3)	30,254 (108.7)	677,077 (109.4)	6,769,815 (105.7)
平成12年	287,623 (111.9)	143,122 (126.3)	72,583 (105.6)	97,923 (106.4)	46,906 (110.3)	20,633 (119.6)	31,728 (114.0)	700,518 (113.2)	6,932,577 (108.3)
平成17年	295,802 (115.1)	147,182 (129.9)	74,294 (108.1)	99,055 (107.6)	47,926 (112.7)	21,602 (125.3)	32,535 (117.0)	718,396 (116.1)	7,254,704 (113.4)
平成22年	<u>303,204</u> (118.0)	<u>149,406</u> (131.9)	<u>75,386</u> (109.7)	<u>100,145</u> (108.8)	<u>48,022</u> (113.0)	<u>22,539</u> (130.7)	<u>33,526</u> (120.5)	<u>732,228</u> (118.4)	<u>7,416,873</u> (115.9)

資料：あいちの人口（愛知県県民生活部）

注：（ ）内の数字は、昭和60年を100とした市町別の人口増加指数

2 人口構成

平成17年の国勢調査と平成22年の当医療圏人口を年齢3区分で比較すると、0歳から14歳までの年少人口は、108,998人（構成比15.2%）から110,285人（構成比15.1%）と構成比はほぼ横ばいです。（表1-3-2）

15歳から64歳までの生産年齢人口では、487,542人（構成比67.8%）から468,279人（構成比63.9%）と構成比で 3.9ポイント下回っています。

また、同様の比較で、65歳以上の老年人口では、119,213人（構成比16.6%）から151,020人（構成比20.6%）と構成比で4.0ポイント上回っています。

平成22年の当医療圏の人口と県の人口を比較すると、当医療圏の人口は、年少人口の構成比は、0.6ポイント多く、生産年齢人口の構成比では0.9ポイント下回り、老年人口の構成比では0.4ポイント上回っています。

このことから、当医療圏は、生産年齢人口の占める割合が県に比べ低く、高齢化も確実に進んでいることが分かります。

表1-3-2 人口構成割合の推移

(各年10月1日現在)

区 分		総 人 口	年少人口 (0—14 歳)	生産年齢人口 (15—64 歳)	老 年 人 口 (65 歳以上)	年齢不詳
昭和 60 年	人 口(人)	618,490	147,667	427,002	43,821	-
	構成比(%)	100	23.9	69.0	7.1	-
平成 2 年	人 口(人)	644,222	121,457	468,253	54,512	-
	構成比(%)	100	18.9	72.6	8.5	-
平成 7 年	人 口(人)	676,921	109,687	496,852	70,382	-
	構成比(%)	100	16.2	73.4	10.4	-
平成 12 年	人 口(人)	700,518	108,048	499,789	91,700	981
	構成比(%)	100	15.4	71.4	13.1	0.1
平成 17 年	人 口(人)	718,396	108,998	487,542	119,213	2,643
	構成比(%)	100	15.2	67.8	16.6	0.4
平成 <u>22</u> 年	人 口(人)	<u>732,228</u>	<u>110,285</u>	<u>468,279</u>	<u>151,020</u>	2,644
	構成比(%)	100	15.1	<u>63.9</u>	<u>20.6</u>	0.4
愛 知 県 (平成 <u>22</u> 年)	人 口(人)	<u>7,416,873</u>	<u>1,073,659</u>	<u>4,810,098</u>	<u>1,497,564</u>	<u>35,552</u>
	構成比(%)	100	14.5	<u>64.8</u>	<u>20.2</u>	<u>0.5</u>

資料：平成 17 年までは総務省の国勢調査

[あいちの人口](#)（愛知県県民生活部）

注：昭和 60 年から平成 7 年の総人口は、年齢不詳数を除いた概数

3 出 生

平成21年の出生数は、7,020人（男3,574人、女3,446人）で、出生率は、9.6で、愛知県とほぼ同じです。（表1-3-3）

表1-3-3 出生の推移

単位：人

年	春日井市	小牧市	犬山市	江南市	岩倉市	大口町	扶桑町	医療圏	愛知県
昭和 60 年	3,287	1,374	696	1,122	617	199	280	7,575 (12.2)	80,186 (12.5)
平成 2 年	2,767	1,320	579	986	522	156	282	6,612 (10.2)	70,942 (10.7)
平成 7 年	3,001	1,505	658	1,017	571	213	313	7,278 (10.7)	71,899 (10.6)
平成 12 年	3,380	1,656	637	1,031	596	270	381	7,951 (11.4)	74,736 (10.8)
平成 17 年	3,016	1,352	614	865	483	229	313	6,872 (9.6)	67,110 (9.3)
平成 21 年	3,091	1,372	<u>592</u>	<u>853</u>	<u>488</u>	<u>237</u>	<u>387</u>	<u>7,020</u> <u>(9.6)</u>	<u>69,768</u> (9.7)

資料：人口動態統計（厚生労働省）

注：出生率は人口千対、（ ）内の数字は出生率

4 死 亡

平成21年の死亡数は、5,175人（男2,861人、女2,314人）で、死亡率は、7.1です。昭和60年から5年毎の変化では、年々、増加していますが、県と比べると、低い傾向にあります。（表1-3-4）

表1-3-4 死亡の推移

単位：人

年	春日井市	小牧市	犬山市	江南市	岩倉市	大口町	扶桑町	医療圏	愛知県
昭和60年	1,059	476	372	405	171	86	142	2,711 (4.4)	33,357 (5.2)
平成2年	1,235	571	379	515	227	85	137	3,149 (4.9)	37,435 (5.7)
平成7年	1,531	732	435	620	236	119	186	3,859 (5.7)	42,944 (6.3)
平成12年	1,640	724	448	667	269	139	202	4,089 (5.8)	45,810 (6.6)
平成17年	1,997	860	583	747	301	157	232	4,877 (6.8)	52,536 (7.2)
平成21年	2,139	911	611	759	335	164	256	5,175 (7.1)	<u>55,189</u> (7.6)

資料：人口動態統計（厚生労働省）

注：死亡率は人口千対、（ ）内の数字は死亡率

5 主要死因別死亡数

平成21年の主要死因のうち、悪性新生物、脳血管疾患、心疾患の3大生活習慣病が総死亡数に占める割合は55.2%で、県と同じ割合を示しています。

平成7年から5年毎の状況では死因総数は増加傾向にあり、特に増加数が著しいのは、悪性新生物、心疾患及び肺炎です。（表1-3-5）